



Zoomウェビナー

進行期パーキンソン病に対する

薬剤デバイス補助療法

～デュオドーパ®及びヴィアレブ®～

2025年

3月19日(水) 12:15～12:45

ランチタイム



本講座はZoomを使ったオンラインセミナーです。受講するには、Zoomを利用できる環境が必要です。

口から薬を飲む治療法では十分な効果が得られなくなったパーキンソン病患者に対し、**携帯型の機器（デバイス）を使って体内に効果的に薬を送り込むデバイス補助療法**があります。

今回、専用ポンプとチューブを使って小腸に薬を持続的に直接投与する治療法（デュオドーパ®）、細い管を皮膚に留置して専用ポンプとチューブを使い皮下に薬を直接投与する治療法（ヴィアレブ®）について、埼玉県総合リハビリテーションセンターでの実績も踏まえ医師が解説します。

目次

1. パーキンソン病の臨床経過とデバイス補助療法
2. デバイス補助療法はいつ頃が目安？
3. 持続経腸療法あるいは持続皮下注射どちらを選ぶ？

講師

埼玉県総合リハビリテーションセンター
脳神経内科 医師

橋本 祐二

- ・医学博士
- ・日本神経学会認定神経内科専門医
- ・難病指定医
- ・日本内科学会認定内科医・総合内科専門医

対象者

- ・医療・福祉関係者
- ・患者・ご家族

医師に質問ができます！

お申込みはWEBから

右記QRコード※ または センターHP よりお申込みください

- ・申込が完了するとno-reply@zoom.usからメールが届きます。
 - ・受信拒否設定等されている方は、こちらのメールアドレスからの受信を許可してください。
 - ・申込個人情報の取扱い：お申込みの際に取得した個人情報は、受講管理にのみ使用し、他の目的には使用しません。
 - ・本研修の録画・録音、及び資料の2次利用、詳細内容のインターネット上への投稿等はお断りいたします。
- これらの行為が発覚次第、著作権侵害として対処させていただく場合がございます。
- ※ QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

＼当日までお申込み可能です！／



埼玉県総合リハビリテーションセンター 職員・企画担当
電話：048-781-2222
メール：n8122221a@pref.saitama.lg.jp



埼玉県のマスコット コバトン&さいたまっちゃん

彩の国
埼玉県